

# 令和8年度 消防本部 運営方針

## 1 組織目標

### (1) 消防力を強化しあらゆる災害に対応します。

あらゆる災害から市民の生命、身体及び財産を守り、安全安心な暮らしを確保することを原点に、消防力を充実強化し、消防を取り巻く環境変化に迅速かつ柔軟に対応します。

### (2) 消防組織の活性化を推進します。

市民からの期待と信頼に応え続ける消防組織とするため、前例にとらわれることのない新たな発想で業務を改善し、優秀な人材の確保や定年退職まで職員が安心して働ける職場環境の整備などにより、組織の活性化を推進します。

### (3) 火災予防対策を強化します。

火災の発生を防ぐために、高齢者を中心とした住宅火災予防対策を推進するとともに、あらゆる広報媒体を活用した情報発信を強化することで市民の火災予防意識を醸成します。

## 2 重点施策・重点事業

### (1) 複雑多様化する災害に対応できる消防力の強化

警防本部を中心とした指揮命令系統の確立と、新たに整備した日勤救急隊及び映像通報システムの運用により、消防力を強化し、あらゆる災害に対応します。

また、訓練の充実により、地域防災力の中核的存在である消防団を活性化することで、災害対応力を強化します。

- ① 消防施設の適正配置の推進
- ② 消防力・地域防災力の充実強化
- ③ 救急体制の改善・整備
- ④ 通信指令システム等の更新整備に向けた検討及び準備
- ⑤ 映像通報システムの導入
- ⑥ 通信指令業務のあり方の検討
- ⑦ 大規模災害を見据えた災害対応力の強化

## **(2) 人材の確保及び育成の推進**

より良い人材を確保するために、SNSなどを活用した消防本部の魅力発信を推進するとともに、就職セミナーなどを活用し、採用試験の受験者を増加させます。

また、体系化された各教育計画を推進し、職員全体の実践力を向上させ、即応力と先見性を備えた消防人を育成するとともに、役職定年を迎える職員が現場活動へ円滑に戻り、安全、確実に職務を遂行するための体制を構築します。

- ① 企画・広報力の充実強化
- ② 役職定年者の署所配置におけるカムバックプランの策定
- ③ 教育体制に基づいた人材育成の推進

## **(3) 業務見直しの推進**

全職員が同じ理念に基づき、既存事業の再評価及び見直しを推進し、効率的な組織運営体制を確立するとともに、働きやすく魅力ある職場環境を構築します。

- ① 企画・広報力の充実強化
- ② 業務効率化の推進

## **(4) 住宅用防災機器の普及と広報の強化による防火対策の推進**

全国的に火災による死者の約7割が高齢者であることを踏まえ、火災の逃げ遅れを防ぐために、引き続き住宅用火災警報器の設置を促します。

また、運用を開始した「林野火災注意報」及び「林野火災警報」に関する情報をはじめ、市民の火災予防意識の醸成につながる情報発信を強化します。

- ① 火災予防啓発事業の推進